

5. 糸島市定住促進情報発信事業 【学研都市づくり課】

資料名	番号
1. 事業概要説明書	1
2. 別紙1	2
3. 糸島市定住促進行動計画（H26アクションプラン）	3
4. 人口移動の状況	4
5. 人口推移（5歳階級）福岡県人口移動調査より（H21, 22, 23, 24, 25）	5
6. 県内他市町の定住促進の取組状況	6
7. 住宅展示場でのアンケート集計①～④	7
8. 住宅展示場でのイベントチラシ資料	8
9. 情報発信ボード設置（イオン福岡伊都店）資料	9
10. 糸島市定住促進ガイドブック「きっと満足糸島生活」（写し）	10

糸島市外部評価 事業概要説明書

【事業の位置づけ（基本事項）】

整理番号	5
------	---

事業名	糸島市定住促進情報発信事業		担当部・課	経済振興部 学研都市づくり課
総合計画 での 位置づけ	基本目標	快適に暮らすことができる安全・安心のまちづくり	実施主体	市
	政策	都市機能の充実	実施方法	直営
	施策	良好な住環境を創出する	事業期間	平成25年度～ 平成27年度(3年間)
	重点 プロジェクト	子育て支援プロジェクト	総事業費	5,567千円
根拠法令や 計画等	糸島市定住促進行動計画		会計種類	一般会計

【事業の内容について】

事業の対象	(誰(何)が事業の対象か?) 主に福岡都市圏の西側で住宅取得を検討している人
事業の目的 (意図)	(対象をどのような状態にしたいのか?) 定住関連施策等を効果的・積極的に情報発信することにより、本市への定住を促進する。
事業の内容 (手法等)	(どのような仕事の内容で、どのような手法・手段で実施しているか?) ホームページやパンフレット等による情報発信に加え、福岡市中心部で働いている人たちに、効果的に糸島市の情報を発信するため、福岡市営地下鉄、JR九州、西日本鉄道で車内広告を掲載する。 また、住宅展示場において、糸島のイベントを開催し、住宅購入を検討している人に効果的に糸島市の情報を発信する。

【事業費について】

(単位：千円、人)

	一般財源	その他	計 (事業費)	従事 職員数	概算 人件費	合計 (総コスト)
平成26年度 (実施計画の事業費)	1,947		1,947	0.20	1,740	3,687
平成27年度 (実施計画の事業費)	1,646		1,646	0.20	1,740	3,386

※概算人件費は、市の平均人件費約8,700千円に、その事業に係る年間の職員数を乗じて算出。

	内容	金額(千円)
事業費の内訳 (平成26年度)	JR九州 福岡電車Bドア横戸袋(1月) $250,00 \times 1.08 = 270,000$ 円	270
	市営地下鉄 全線全車掲出まど上(1月) $234,000 \times 1.08 = 252,720$ 円	253
	西鉄 天神大牟田線・貝塚線まど上150枚セット(1月) $225,000 \times 1.05 = 243,000$ 円	243
	車内印刷 $278,500 \times 1.08 = 300,780$ 円 ガイドブック印刷400,000円	301
	住宅展示場イベント500円(販促) $\times 300 \text{人} \times 3 \text{回} + 15,000 \text{円} \times 2 \text{回} = 480,000$ 円	1,181
	定住促進ガイドブック印刷400,000円	400

糸島市外部評価 事業概要説明書

【担当課による評価・分析】

◆事業の必要性

必要と判断する理由	<p>本格的な人口減少社会に突入し、本市も人口が減少傾向にある。市町村の間では人口の囲い込み競争が始まっており、本市は出遅れている状況である。</p> <p>本市を定住の候補地に挙げてもらうには、まずは本市を認知してもらう必要があり、特に福岡市中心部で働いている人をメインターゲットとして、車内広告による情報発信は非常に効果が高いと考える。</p>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

◆受益者への成果

受益者	受益者の考えている価値	求められる成果（単位）	事業開始時	現在値	最終目標値
福岡市中心部で働く人	糸島市を定住の候補地として認知	転入者の増加	年間平均転入者 3,379人	同左	年間平均転入者の50人増 (27年度)

◆事業の分析

平成25年度実施状況	<p>定住促進ガイドブック”きっと満足 糸島生活”、ポスター、チラシの作成・配布(7,000部)</p> <p>定住促進ホームページの開設</p> <p>住宅展示場と連携したイベントの開催(3会場・4回)</p> <p>福岡県宅地建物取引業協会との協定締結</p> <p>福岡市を中心とした企業訪問活動(70社延べ110社) など</p>
実施の効果	<p>社会増減で、22～24年度の平均年間転出超過数は▲163人だったが、25年度は▲100人に縮減した。特に、25～34歳の転出超過が36人縮減、35～44歳の転入超過が27人拡大し、子育て世代の減少に歯止めがかかってきている。</p> <p>自然環境や農林水産物、風景、クラフトなど、本市の魅力に注目が高まるとともに、定住情報の発信により、定住の地の選択肢の1つとして、本市が認知されてきていると思われる。</p>
現状の課題	<p>多くの人に、定住の候補地に本市を挙げてもらうには、本市の定住促進施策をはじめ、自然環境、教育環境、子育て環境、住環境、交通環境などを効果的に情報発信していく必要がある。</p>
今後の方針	<p>定住促進ガイドブックの改訂や鉄道の車内広告、ハウスメーカーと連携したイベント開催など、市として情報発信するとともに、福岡県宅地建物取引業協会やハウスメーカーとの連携強化により、住宅を提供する側からも、本市の定住促進情報を発信してもらえるように努める。</p> <p>加えて、直接的定住促進施策であるマイホーム取得奨励金や九大関連の施策の情報も積極的に発信していく。</p>
特記事項	<p>福岡都市圏をはじめ、関東圏、関西圏への効果的な情報発信方法などをご提案いただきたい。</p> <p>また、情報発信だけでなく、さまざまな定住促進施策の情報もご教示願いたい。</p>

別紙1

<p>① 「何年度からこの事業を始めましたか」 (実施計画事業の枠に関係なく、その事業を開始した年度)</p>
<p>25年度：定住促進ガイドブックの作成・住宅展示場でのイベント 26年度：鉄道の車内広告</p>
<p>② 「事業を始めた背景(きっかけ)はどのようなことですか」</p>
<p>福岡市内を中心に企業訪問を行い、本市のイメージや定住のポイントなどを聴取調査した結果、交通環境をはじめとする本市の定住に関する情報が知られていなかったため、定住に視点をおいた情報発信を開始した。</p>
<p>③ 「どのような状態になったら事業終了を検討できますか」</p>
<p>大前提としては、人口が維持・増加傾向に転じることだが、鉄道の車内広告については、マイホーム取得奨励金など、直接的な定住促進策と併せて実施するため、定住促進施策の終了と併せて終了することも考えられる。</p> <p>ガイドブック等の情報発信については、直接的定住促進施策だけでなく、子育て環境や教育環境などの情報発信の役割もあるため、継続する必要がある。</p>



糸島市

定住促進

行動計画

平成26年度アクションプラン

～ 住みたいまち
住み続けたいまち
糸島の創造 ～

福岡県糸島市

平成26年6月

目次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

定住促進戦略・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～5

人口移動の現状
定住促進戦略の基本方針
計画期間と計画の見直し
目標人口
推進体制

26年度アクションプラン・・・・・・・・・・・・・6～13

直接的施策

26年度アクションプラン一覧表
26年度アクションプラン

間接的施策

主な間接的施策の一覧表
情報共有と定住の視点からの間接的施策の改善

はじめに

糸島市は、平成22年1月に合併し、人口10万人の都市として誕生しました。合併前から増加し続けてきた人口は、平成23年に初めて減少に転じ、平成24年には10万人を割り込み、平成25年においても、減少傾向が続いています。

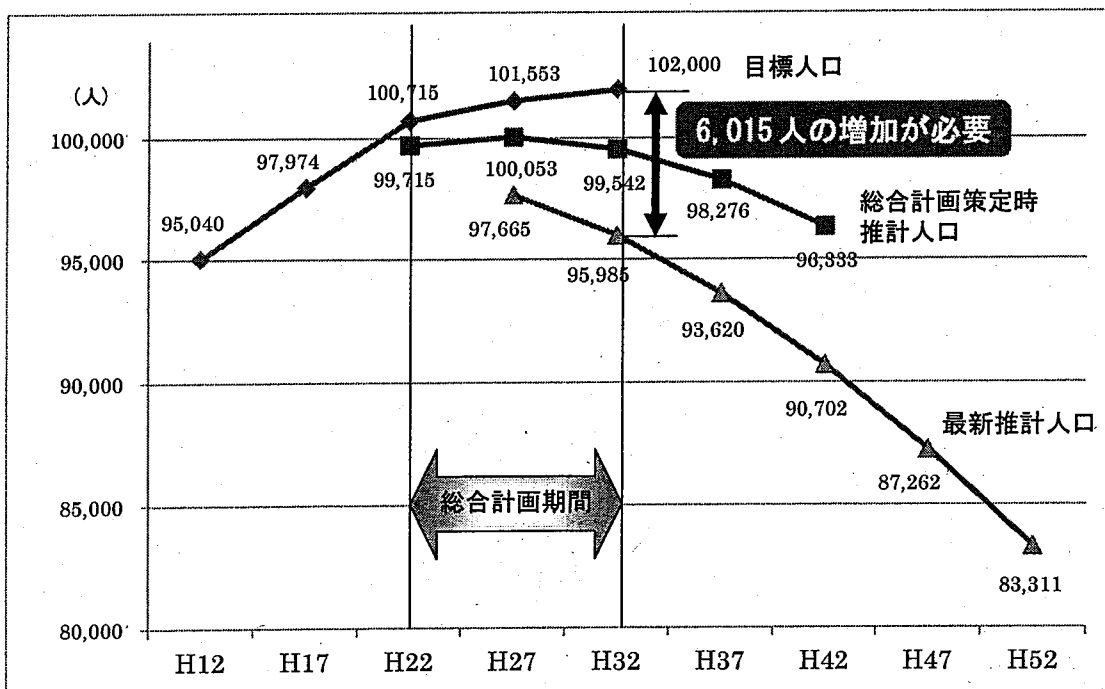
平成25年3月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口（平成25年（2013）年3月推計）」においても、糸島市の人口は、平成27年に97,665人、平成32年に95,985人、そして、27年後の平成52年には83,311人（指数84.6）まで減少すると予測されています。

一方、「第1次糸島市長期総合計画」では、平成32年の目標人口を10万2000人に設定しています。これは、総合計画策定時における推計人口99,542人に、九州大学の関係者2,000人と各種政策による増加人口458人を加えた数値ですが、最新の推計人口に置き換えると、さらに3,557人を加え、6,015人を増加させなければ、目標人口には到達できない状況となっています。

まちの元気のパロメーターである人口。人がいなければ、地域に活力は生まれず、糸島市の将来像である“人も元気 まちも元気 新鮮都市 いとしま”は実現できません。

そこで、平成24年度に糸島市の定住に関する現状分析や課題などをまとめた「糸島市定住促進に関する指針」を基本とし、重点的かつ効果的に定住化施策を展開していくため、「糸島市定住促進行動計画」を策定しました。

糸島市の人口の推移と推計



資料) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」、糸島市第1次長期総合計画より作成

人口移動の現状

居住地を移動するきっかけとしては、就職、転勤、子育てなど、さまざまな機会がありますが、特に近年は、進学や結婚を機に居住地を移動する割合が高まっています。

また、30歳代からは、生活環境や子育て環境などを理由に居住地を選択する傾向が見られます。

現在地への移動理由

調査	過去5年間の移動者(人)	移動理由(%)							
		入学・進学	職業上の理由	住宅を主とする理由	親や子と同居・近居	家族の移動に伴って	結婚・離婚	その他	不詳
第7回	5,972	5.4	14.1	35.0	6.4	10.9	13.5	11.8	2.9
第6回	6,792	4.6	12.8	35.3	6.8	13.2	12.6	10.7	4.0

※移動理由：職業上の理由（就職、転職、転勤、家業継承、定年退職）、住宅を主とする理由（住宅事情、生活環境上の理由、通勤通学の便）、その他（子育て環境上の理由、健康上の理由、その他）

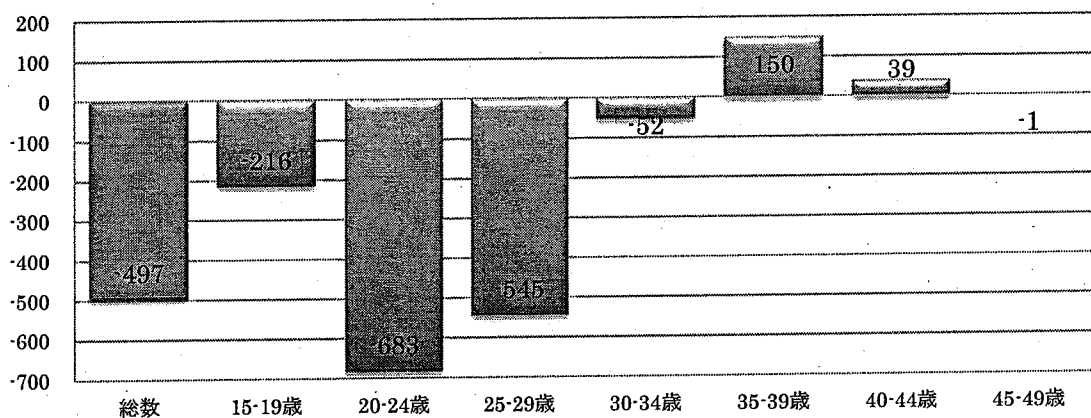
資料）国立社会保障・人口問題研究所「第7回人口移動調査」より作成

福岡県人口移動調査では、本市の平成22年1月から平成25年2月までの3年間の社会増減（転入－転出）は、全体で497人減少（転出超過）しており、年代別では20歳代が合計1,228人減少（転出超過）と、進学や就職、転勤、結婚などで、特に若い世代が糸島市から転出している状況となっています。

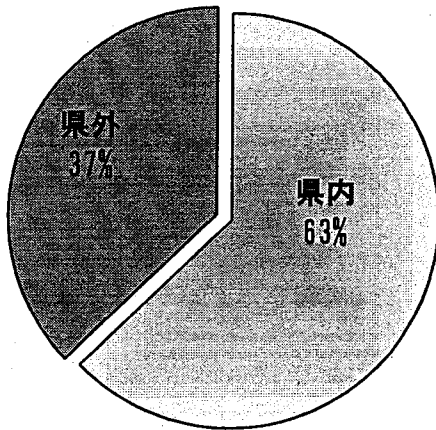
さらに、3年間の転出者総数10,986人のうち、63%の6,912人が県内転出となっています。

また、県内転出者の75%が福岡市に転出しており、その45%に当たる約2,300人が糸島市に隣接する福岡市西区への転出となっています。

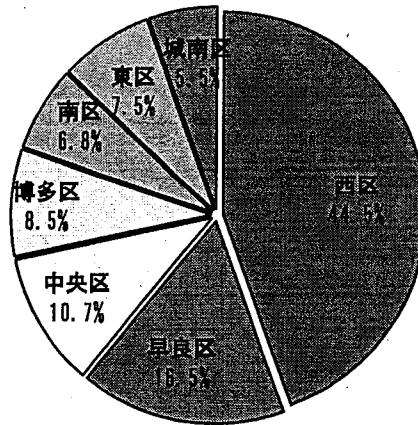
年代別の社会増減数（平成22年1月～25年2月）



県内・県外転出者の割合



福岡市各区への転出者の割合



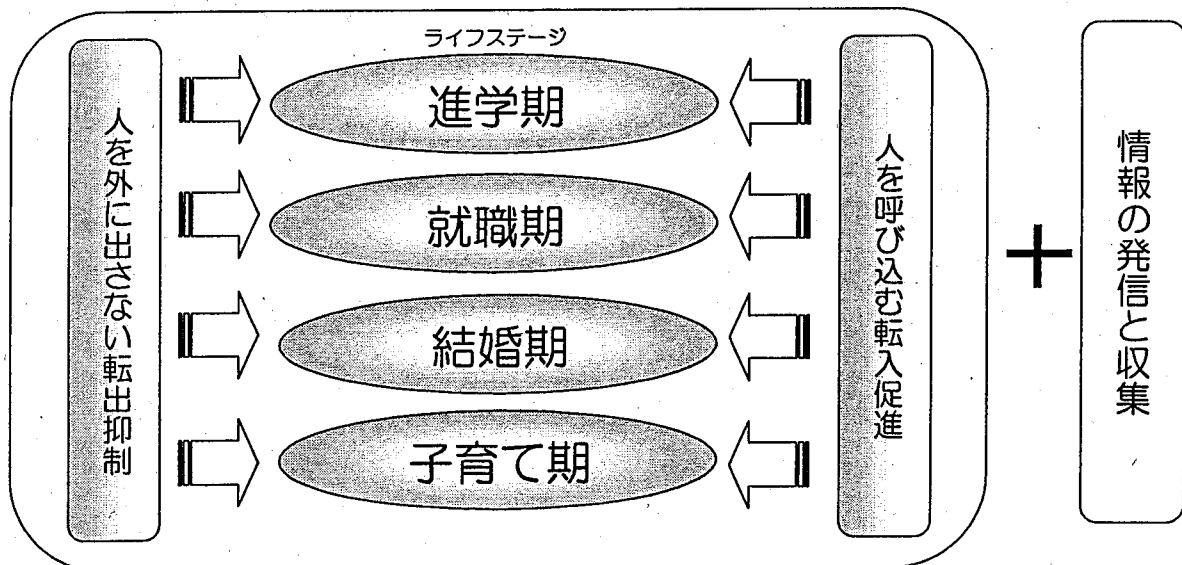
資料) 福岡県人口移動調査より作成

定住促進戦略の基本方針

現実的に人口減少に突入している中で、人口の維持・増加を図るためには、的を絞り、重点的かつ効果的に定住促進施策を展開していく必要があります。

そこで、ライフステージにおける「進学期」「就職期」「結婚期」「子育て期」の4つの時期に的を絞り、糸島市に人を呼び込む転入促進と糸島市から人を外に出さない転出抑制の2つの側面から定住促進施策に取り組むとともに、積極的な情報の発信と収集に努めます。

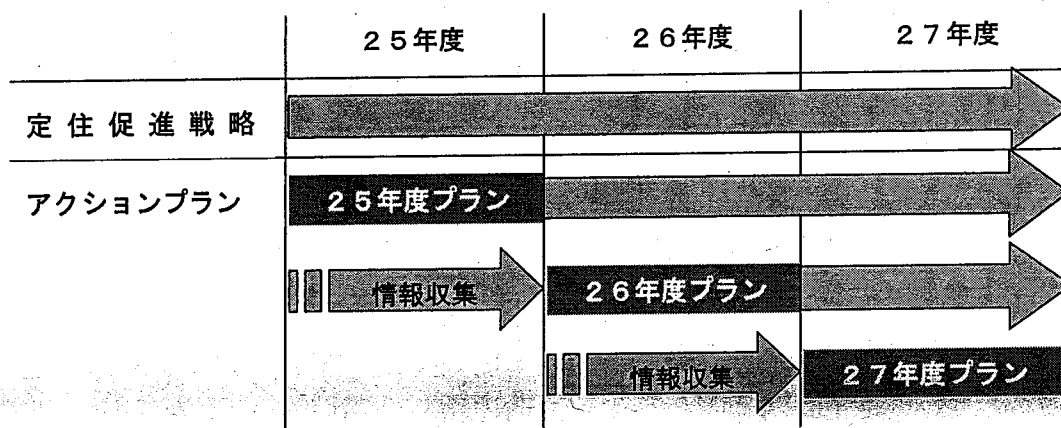
定住促進戦略基本方針イメージ



計画期間と計画の見直し

この行動計画の計画期間は、平成25年度から平成27年度までの3年間とします。

ただし、社会情勢やニーズの変化に的確に対応するため、新規施策の制度設計や既存施策の見直しを行い、毎年度、アクションプランを策定します。また、迅速な対応が必要な場合は、随時、アクションプランの見直しを行うこととします。



目標人口

平成25年3月末の住民基本台帳人口は、100,179人（日本人99,570人・外国人609人）となっています。

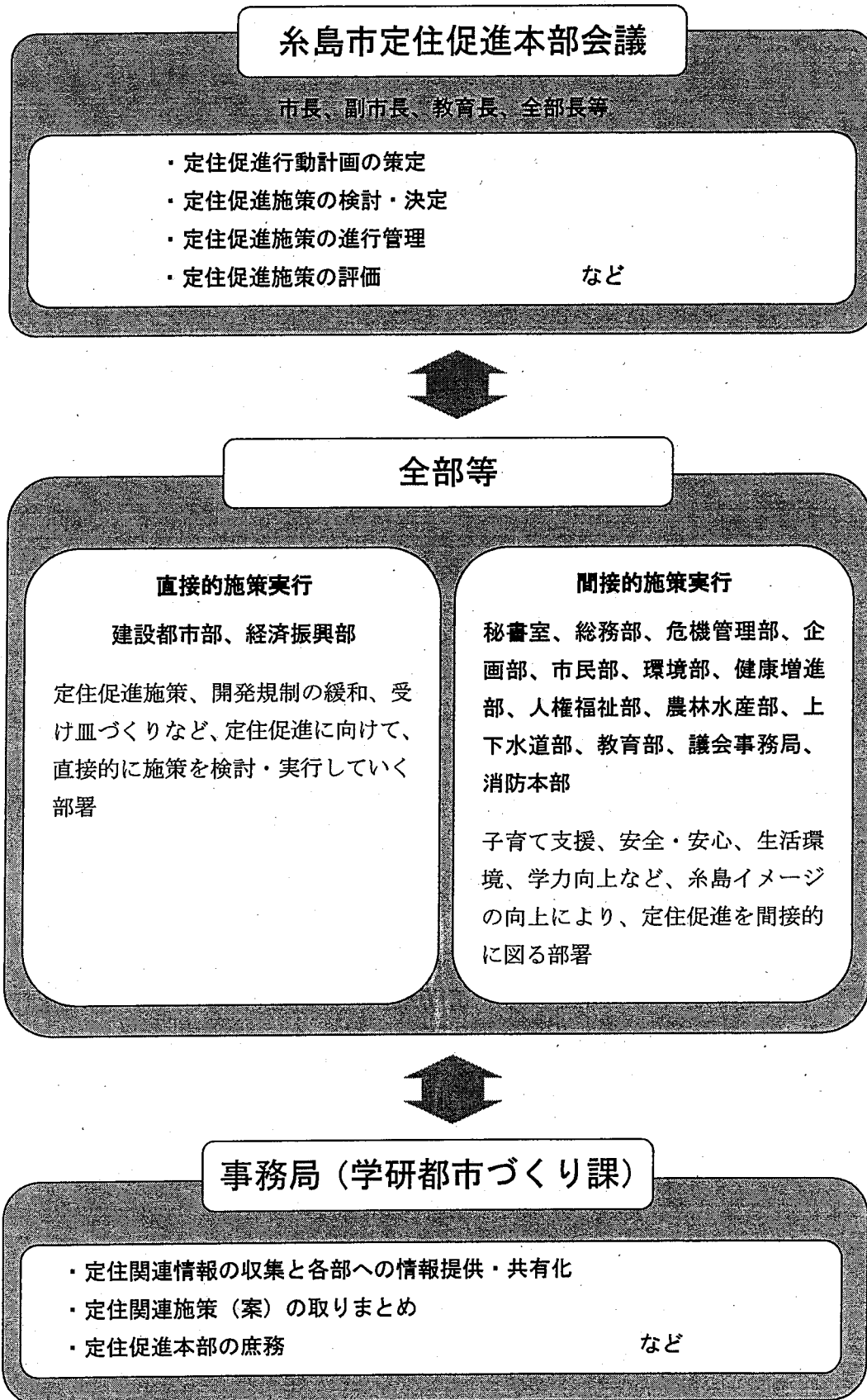
第1次糸島市総合計画前期基本計画の目標人口である102,000人の達成に向けて、年度別の目標人口を次のとおり設定します。

年 度	25年度	26年度	27年度
目標人口	100,235人	100,310人	100,535人
基準人口-100,179人	532人増 (実増加数56人)	551人増 (実増加数75人)	701人増 (実増加数225人)
年度別増加数 内訳	九大移転関連 200人 定住促進施策 332人	九大移転関連 200人 定住促進施策 351人	九大移転関連 310人 定住促進施策 353人 前原東土地区画整理事業 38人

※年間平均 (H22～H24) 減少人口 326人 (自然増+社会増) - (自然減+社会減)

※九州大学関係の年間転出人口を150人と想定

推進体制



直接的施策

26年度 アクションプラン 一覧表

「※」は26年度新規事業

【情報発信・収集】

1. トライアルステイ事業 《全期》
2. 定住促進情報発信事業 《全期》
3. 企業等への定住促進活動 《全期》
4. 定住促進動画サイトの制作 《全期》
5. 空き家バンク事業 《全期》
6. 民間連携による情報発信 《全期》

【生活応援】

7. 住宅取得補助制度の創設 《就職期・結婚期・子育て期》
8. 空き家リフォーム補助金 《就職期・結婚期・子育て期》
9. 新婚生活応援祝い金事業 《結婚期》
10. 婚活支援事業 《結婚期》

【九州大学関連】

11. 九州大学学生への電動バイクレンタル事業 《進学期》
12. 九州大学学生への自転車購入補助事業 《進学期》
13. 九州大学学生転入促進事業 《進学期》
14. 九州大学新入生応援フェア・出張窓口の開設 《進学期》
15. 九州大学と連携した空き家リノベーション 《進学期》
16. 九州大学職員向けバスツアー 《就職期・結婚期・子育て期》

26年度 アクションプラン

【情報発信・収集】

目標定住人口：311人増

NO	事業名	担当課
1	トライアルステイ事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
2～3週間、本市での生活を実際に体験するトライアルステイを、海側・山側の2か所で実施します。 移住体験者のレポートをホームページで情報発信します。		全期
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
4,320	移住体験者：12組	20人

NO	事業名	担当課
2	定住促進情報発信事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
JR九州、西日本鉄道、福岡市営地下鉄に車内広告を掲載します。 住宅展示場などでPRイベントを開催します。		全期
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
1,947	イベント開催：3回	120人

NO	事業名	担当課
3	企業等への定住促進活動	学研都市づくり課
事業内容		対象期
福岡市内や唐津市内の企業等を訪問し、情報の収集や発信などの定住促進活動に取り組みます。		全期
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
88	訪問企業数：50社	21人

NO	事業名	担当課
4	定住促進動画サイトの制作	学研都市づくり課
事業内容		対象期
定住促進のホームページに充実を図るため、移住者の声や本市の魅力・住環境などの動画を制作します。		全期
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
—	アクセス件数：1万件/月	60人

NO	事業名	担当課
5	空き家バンク事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
市内にある空き家情報を市のホームページで公開し、空き家の利用希望者に情報を提供します。		全期
		目的 転入促進・転出抑制
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
—	契約成立数：10件	20人

NO	事業名	担当課
6	民間連携による情報発信	学研都市づくり課
事業内容		対象期
連携協定を締結した福岡県宅地建物取引業協会及び福岡銀行・FFG、また、ハウスメーカーと連携して情報発信を中心に定住促進活動に取り組みます。		全期
		目的 転入促進・転出抑制
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
—	連携事業数：3事業	70人

【生活応援】

目標定住人口： 38人増

NO	事業名	担当課
7	住宅取得補助制度の創設	学研都市づくり課
事業内容		対象期
市内で住宅を取得した場合に、一定期間、固定資産税相当額を補助する制度を創設します。		就職・結婚・子育て 目的
		転入促進・転出抑制
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
—	補助制度の創設	—

NO	事業名	担当課
8	空き家リフォーム補助金	学研都市づくり課
事業内容		対象期
市内の空き家をリフォームして定住する場合に、リフォーム費用の一部を補助します。		就職・結婚・子育て 目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
5,000（2,500）	補助件数：10件	26人

26年度アクションプラン

NO	事業名	担当課
9	新婚生活応援祝い金事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
市内に居住する新婚さんに、商品券を支給し、新婚生活を応援します。		結婚
		目的
		転入促進・転出抑制
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
4,500	商品券支給件数：150件	10人

NO	事業名	担当課
10	婚活支援事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
婚活イベントの開催や婚活サポーターの育成など、婚活支援に取り組みます。		結婚
		目的
		転入促進・転出抑制
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
1,711（1,711）	成婚組数：2組	2人

【九州大学関連】

目標定住人口：202人増

NO	事業名	担当課
11	九州大学学生への電動バイクレンタル事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
市内に居住する九州大学の学生に、民間業者と連携して電動バイクをレンタルします。		進学
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
2,187	レンタル台数：30台	20人

NO	事業名	担当課
12	九州大学学生への自転車購入補助事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
市内に居住する九州大学の学生が、市内で自転車を購入した場合に、購入費の一部を補助します。		進学
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
800	補助台数：80台	45人

NO	事業名	担当課
13	九州大学学生転入促進事業	学研都市づくり課
事業内容		対象期
九州大学の学生が、市内に引越してくる場合に、引越費用の2分の1（限度額1万円）を補助します。		進学
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
2,580	転入増加人数：100人	100人

NO	事業名	担当課
14	九州大学新入生応援フェア・出張窓口の開設	学研都市づくり課
事業内容		対象期
新入生応援フェアを開催し、九州大学の新入生に本市のPRや物件情報の提供などを行います。また、出張窓口を開設し、その場で転入手続きが行えるようにします。		進学
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
125	紹介物件件数：100件	25人

NO	事業名	担当課
15	九州大学と連携した空き家リノベーション	学研都市づくり課
事業内容		対象期
九州大学と連携して、市内の空き家をリノベーションして居住する取組に補助を行います。		進学
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
1,000	リノベーション件数：1件	2人

NO	事業名	担当課
16	九州大学職員向けバスツアー	学研都市づくり課
事業内容		対象期
九州大学の教職員や家族に、本市の魅力をPRするため、市内を巡るバスツアーを開催します。		就職・結婚・子育て
		目的
		転入促進
事業費（内補助金等）千円	行動目標	目標定住人口
51	参加者数：40人	10人

間 接 的 施 策

【情報発信】

情報発信ツールの活用

広報紙の電子ブック、定住促進ホームページ、動画サイト、モバイルサイトなど、情報発信ツールの有効活用・充実を図り、本市の魅力を発信します。
また、市の封筒や郵便スタンプに定住促進キャッチコピーを掲載します。

糸島ブランドの推進

雑誌やテレビなど取材を誘導し、本市のPR・ブランド化を図る中で、観光や歴史などの情報に加え、定住促進情報を発信します。
また、物産展などのイベント開催を支援し、イベント時にガイドブックの配布などを行います。

いとしま応援プラザでの情報発信と収集

いとしま応援プラザで定住促進情報を発信するとともに、来客者の中で本市に居住の意向がある場合は、名簿への記入をお願いし、意向調査やガイドブックの送付などの定住促進活動につなげます。

糸島まるごと農学校等による体験活動

田植えや収穫などの体験する糸島まるごと農学校、ファームパーク伊都国での農力体験フェスタ、市内13か所の市民農園など、農作業などの体験活動や地域との交流を通じて、本市の魅力をPRします。

【結婚・子育て環境】

妊婦歯科健診の実施

妊娠期間中の歯科健診を無料（1回限り）で実施します。

医療費無料化の拡大

小学校就学前までの医療費無料化について、小学校3年生までに拡大（入院のみ）するための取組を進めます。
また、対象範囲のさらなる拡大の検討も行います。

【教育環境】

小学生の英語力の向上

小学校1～4年生を対象に、英語によるコミュニケーションの楽しさを学ぶため、九州大学の留学生との交流体験を行います。

また、英語が堪能な外部講師を招き、外国語活動の充実を図ります。

九州大学の学生による伊都塾の開催

中学生を対象に、九州大学の学生を講師とする質問教室及び九州大学の学生が企画する学習教室“伊都塾”を伊都キャンパスで夏休みに開催し、学力の向上と学習意欲の高揚を図ります。

九州大学と連携した教員の指導力向上

九州大学の教授などを講師に招き、教員の指導力向上に向けた講座を開催します。

特色ある学校づくり事業

学校や地域の特色を生かした取組を行う学校に対して、事業に必要な予算を配当する制度の拡大を図ります。

中学校少人数数学級推進事業

生徒の学習意欲の向上や生徒指導の充実を図るため、中学校1年での少人数数学級の実施に向けた調査・研究を行います。

土曜日の教育活動推進事業

児童生徒の土曜日の教育活動の充実のため、地域の人材等を活用して土曜授業を推進します。

臨床心理士学校巡回事業

臨床心理士が学校を巡回し、支援を必要とする児童生徒の早期発見や教師等への指導助言を行います。

【生活環境】

路線バスの運行補助

利用者の金銭的負担を軽減するため、市内を運行している糸島市コミュニティバス、昭和バスに定額運賃制度を導入。利用者の増加に向けたPR活動に取り組みます。

光インターネット環境の拡大

光インターネットの未整備地域への光インターネットサービス提供に向けて、民間事業者に要望活動を行います。

特定健康検査受診率向上対策

国民健康保険の特定検診受診者の自己負担額を全額無料にし、受診率の向上を図ります。

休日・急患の歯科医療の実施

日・祝日や年末年始などにおいて、歯科休日急患センター（糸島市口腔保健センター）で、急患に対応する歯科診療を実施します。

水道水の安定供給と浸水対策の実施

給水区域の拡大を図りながら水道水の安定供給を行います。
下水道の認可区域を拡大し、下水道整備を進めます。
改善重点地域を指定し、浸水対策の整備を進めます。

【産業振興】

農業研修生の受け入れ

農業に関心を持つ若者を研修生として受け入れ、農業に関する知識と技術の習得を図るとともに、住居や農地の紹介なども行います。

企業誘致活動

雇用奨励金制度などを有効に活用し、食品関連産業や先端技術産業、九州大学関連の研究施設などの誘致活動に積極的に取り組みます。

経済振興部学研都市づくり課

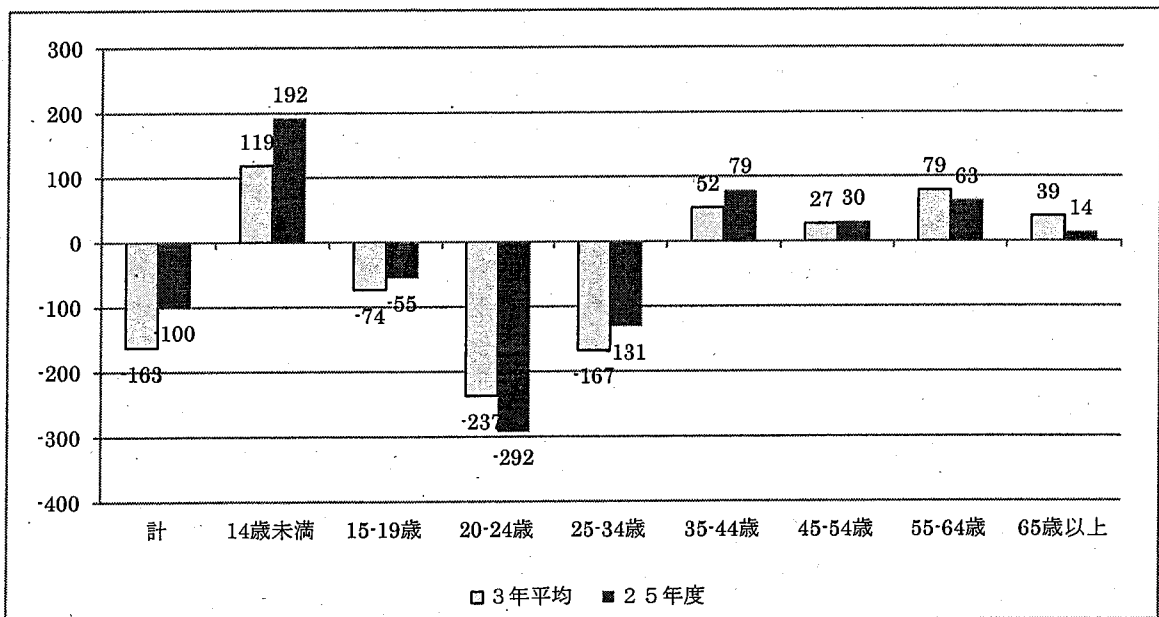
【 人口移動の状況 】

転出入先の状況 日本人のみ

転出/転入	合計	県外	割合	県内	割合	県内のうち				
						福岡市	割合	西・早	割合	
22-24 年度平均	転出	3,471	1,276	36.8%	2,195	63.2%	1,653	75.3%	1,005	45.8%
	転入	3,308	1,294	39.1%	2,014	60.9%	1,154	75.2%	913	45.3%
	差引	▲163	18	—	▲181	—	▲499	—	▲92	—
25年度	転出	3,599	1,330	37.0%	2,269	63.0%	1,743	76.8%	1,004	44.2%
	転入	3,499	1,345	38.4%	2,154	61.6%	1,603	74.4%	989	45.9%
	差引	▲100	15	—	▲115	—	▲140	—	▲15	—

資料：福岡県人口移動調査

年代別社会増減（22-24年度の3年平均と25年度比較） 日本人のみ



資料：福岡県人口移動調査



人口推移 (5歳階級) H20~25 福岡県人口移動調査より

市区町村、年齢(5歳階級)別死亡者数及び転出入者数 一平成24年10月~平成25年9月一
【糸島市】

年齢階級	死亡者			転入者			転出者			転入超過数 ("-"は転 出超過)
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	
総数	933	488	445	3,787	1,946	1,841	3,672	1,896	1,776	115
0~4	1	-	1	380	183	197	215	104	111	165
5~9	1	-	1	151	69	82	86	49	37	65
10~14	-	-	-	86	36	50	46	19	27	40
15~19	-	-	-	215	126	89	235	143	92	-20
20~24	1	-	1	513	298	215	734	410	324	-221
25~29	-	-	-	543	265	278	668	308	360	-125
30~34	5	3	2	491	238	253	481	232	249	10
35~39	7	5	2	403	213	190	298	159	139	105
40~44	4	2	2	244	132	112	180	103	77	64
45~49	13	5	8	122	66	56	141	78	63	-19
50~54	20	11	9	127	72	55	116	61	55	11
55~59	28	21	7	126	70	56	136	66	70	-10
60~64	67	46	21	172	95	77	124	76	48	48
65~69	57	40	17	63	35	28	70	42	28	-7
70~74	79	55	24	50	25	25	36	17	19	14
75~79	100	74	26	37	9	28	33	11	22	4
80~84	153	87	66	26	6	20	34	10	24	-8
85~89	186	85	101	19	7	12	25	6	19	-6
90~94	133	33	100	12	1	11	11	2	9	1
95~99	64	18	46	6	-	6	2	-	2	4
100歳以上	14	3	11	-	-	-	1	-	1	-1
不詳	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1

市区町村、年齢(5歳階級)別死亡者数及び転出入者数 一平成23年10月~平成24年9月一
【糸島市】

年齢階級	死亡者			転入者			転出者			転入超過数 ("-"は転 出超過)
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女	
総数	894	454	440	3,544	1,866	1,678	3,597	1,864	1,733	-53
0~4	2	1	1	314	174	140	248	133	115	66
5~9	1	-	1	163	71	92	104	48	56	59
10~14	2	2	-	70	37	33	62	31	31	8
15~19	1	1	-	191	120	71	226	134	92	-35
20~24	1	1	-	468	274	194	686	375	311	-218
25~29	3	3	-	532	263	269	645	315	330	-113
30~34	3	1	2	464	231	233	440	211	229	24
35~39	3	3	-	323	162	161	326	179	147	-3
40~44	9	9	-	216	126	90	188	98	90	28
45~49	7	4	3	150	79	71	137	85	52	13
50~54	11	6	5	134	70	64	114	62	52	20
55~59	30	20	10	139	76	63	96	56	40	43
60~64	52	38	14	148	92	56	125	61	64	23
65~69	49	32	17	76	35	41	49	23	26	27
70~74	70	48	22	53	29	24	51	25	26	2
75~79	119	70	49	33	12	21	36	15	21	-3
80~84	135	79	56	27	5	22	30	7	23	-3
85~89	164	81	83	25	5	20	22	4	18	3
90~94	149	43	106	13	2	11	8	1	7	5
95~99	60	8	52	3	1	2	2	-	2	1
100歳以上	23	4	19	-	-	-	-	-	-	-
不詳	-	-	-	2	2	-	2	1	1	-



県内他市町の定住促進の取組状況

市町名	取組状況
大牟田市	<p>【定住促進転入者住宅新築奨励交付金】 新築住宅を取得する転入者に最大で100万円を交付。</p> <p>【新幹線定期券購入補助】 新幹線を利用して通勤通学する人の定期券の一部（通勤手当等を差し引いた額）を補助。</p>
久留米市	<p>【住宅リフォーム助成】 住宅をリフォームする場合に10万円を限度に助成。耐震改修工事の場合は80万円が限度額。</p> <p>【ウェルカムキャンペーン】 住宅を購入・新築し、市外から転入する方に総額10万円をプレゼント。</p> <p>【通勤定期利用支援】 市内から30km以上の駅間を利用される方の定期券の一部を補助。</p>
飯塚市	<p>【リフォーム補助】 住宅改修工事を市内業者が施工した場合に、10万円を限度に工事費を補助。</p> <p>【マイホーム取得奨励補助金】 新築の場合は建物の購入費の10%50万円を限度に補助。中古住宅の場合は購入費の10%30万円を限度に補助。</p>

市町名	取組状況
田川市	<p>【市有地購入奨励金】 住宅新築のために市有地を購入した場合に土地取得額の10%を補助。当該地で市内業者を利用して住宅を新築した場合は50万円を交付。</p>
柳川市	<p>【リフォーム補助】 住宅改修工事を市内業者が施工した場合に、10万円を限度に工事費を補助。</p> <p>【マイホーム取得支援制度】 住宅取得費用の5%上限20万円を補助。中学生以下の子供がいる場合は1人当たり10万円加算。</p> <p>【新婚世帯家賃支援制度】 新婚世帯の家賃の1/2（上限1万円/月）を補助。</p> <p>【空き家改修支援制度】 空き家バンクの登録物件を改修した場合に、工事費の1/2（上限20万円）を補助</p>
豊前市	<p>【住宅取得補助】 市の分譲地を取得し、市内業者が施工して住宅を新築した場合に、最高120万円を補助。</p>

市町名	取組状況	市町名	取組状況
筑後市	<p>【固定資産税相当額の補助】 住宅を新築し、3年以上居住する意思があるものに、固定資産税相当額を3年間補助。</p> <p>【リフォーム補助】 住宅改修工事を市内業者が施工した場合に、10万円を限度に工事費を補助。人口減少校区の場合は上限30万円。</p> <p>【転入者新幹線定期券購入補助】 転入者で新幹線を使って通勤通学する場合に、定期券購入費の1部（1万円上限）を補助。</p> <p>【新婚世帯家賃補助】 新婚世帯の家賃を月額1万円を限度に、最長36月補助。</p>	宮若市	<p>【住宅取得補助】 住宅を新築・購入した場合に、固定資産税相当額を年間15万円を限度に7年間補助。</p> <p>【リフォーム補助】 住宅改修工事を市内業者が施工した場合に、10万円を限度に工事費を補助。</p> <p>【新婚世帯家賃補助】 新婚世帯と子育て世代の家賃を月額2万5千円を限度に、最長36月補助。</p>
宗像市	<p>【中古住宅購入・リフォーム補助】 中古住宅を購入した場合に20万円補助。中学生以下の子供が同居している場合は1人当たり20万円加算。さらに市内業者がリフォームした場合は20万円を限度に補助。</p> <p>【古家解体補助】 古屋を解体し、新築住宅を建てる中学生以下の子供がいる世帯に最高120万円を補助。</p> <p>【家賃補助】 未就学児が同居の世帯の家賃を年間最高72万円補助</p>	嘉麻市	<p>【リフォーム補助】 住宅改修工事を市内業者が施工した場合に、10万円を限度に工事費を補助。</p>
古賀市	<p>【住宅取得補助】 高齢化率30%以上の行政区に転入し、小学生以下の子供がいること等の条件を満たしている世帯に20万円補助。</p>	みやま市	<p>【リフォーム補助】 空き家バンクに登録している住宅を改修した場合に、20万円を限度に工事費を補助。市内業者が施工した場合は10万円加算。</p>
		那珂川町	<p>【住宅取得補助】 住宅を取得した場合に、固定資産税相当額を5年間100万円を限度に補助</p> <p>【不動産業者補助】 不動産業者が転入促進のために、仲介手数料等をサービスした場合に相当額（上限20万円）を不動産業者に補助。</p>

市町名	取組状況
岡垣町	<p>【住宅取得補助】 若年夫婦や子育て世代が住宅を取得した場合に固定資産税相当額を3年間補助。2万円相当額の町内特産品をプレゼント。</p> <p>【中古住宅購入補助】 中古住宅を購入した場合に20万円補助。市内業者がリフォームした場合は20万円加算。</p> <p>【古家解体補助】 古家を解体して住宅を新築する場合に解体費の2/3を補助</p> <p>【家賃補助】 若年夫婦・小学生以下の子供がいる世帯が、人口減少地区に住む場合、家賃の一部を補助。</p>

※行政サービスの比較を行う民間ホームページより作成しており、各市町の制度内容に変更、追加、削除等が行われていることもある。



HIT Marina 通り住宅展示場でPRイベントの開催

【イベントの開催】

開催日時：平成25年9月16日（月・祝） 10：00～17：00

場 所：HIT Marina 通り住宅展示場（福岡市西区愛宕）

運営会社：福岡地所株式会社

出店ハウスメーカー：27社（モデルハウス30棟）

イベント：①出張！軽トラ市（5店舗参加・10：00～15：00）

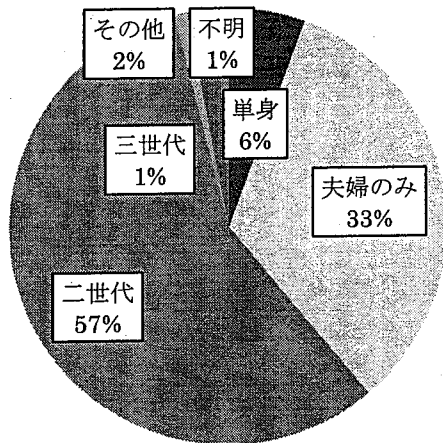
②糸島市PRイベント

- ・アンケート協力者に糸島産野菜のプレゼント（回収枚数：226枚）
- ・定住促進ガイドブックの配布
- ・糸フェス・市民まつり・周遊バス・軽トラ市のチラシ配布
- ・いとゴンによるシール配布

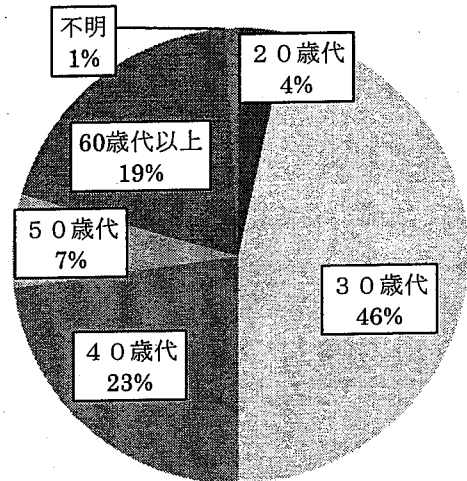


【アンケート結果】 回収枚数：226枚

Q1. 家族構成を教えてください。

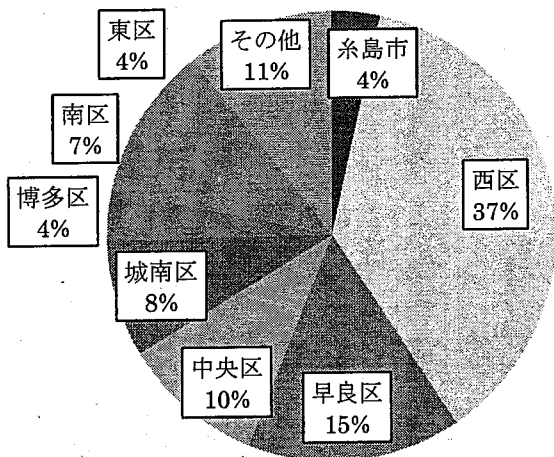


Q2. 世帯主の年齢を教えてください。

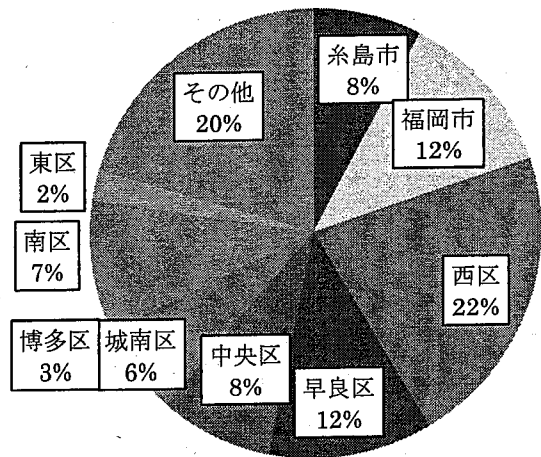


- 来場者の90%が、二世代(57%)、夫婦のみ(33%)で、核家族の世帯の割合が高い。
- 世帯主の69%が、30歳代(46%)、40歳代(23%)となっている。50歳代になると7%と極端に割合が下り、逆に60歳代以上になると19%と割合が高くなる。

Q3. 現在、どちらにお住まいですか。

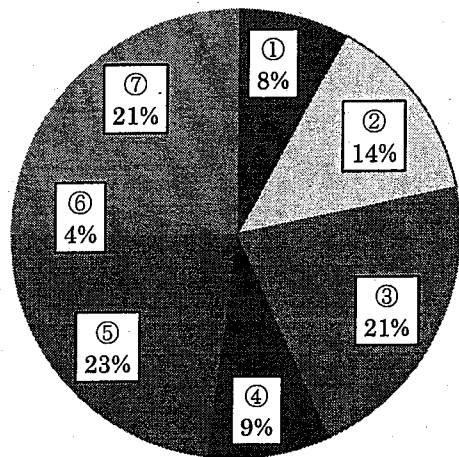


Q4. どちらで住宅をお探しですか。



- 来場者の85%が福岡市に在住しており、西区が37%と最も割合が高い。
- 住宅取得の検討地は、福岡市内が72%、糸島市8%、その他・未定が20%となっている。
- 福岡市内在住者の13%が、福岡市外での住宅取得も選択肢に入っている。

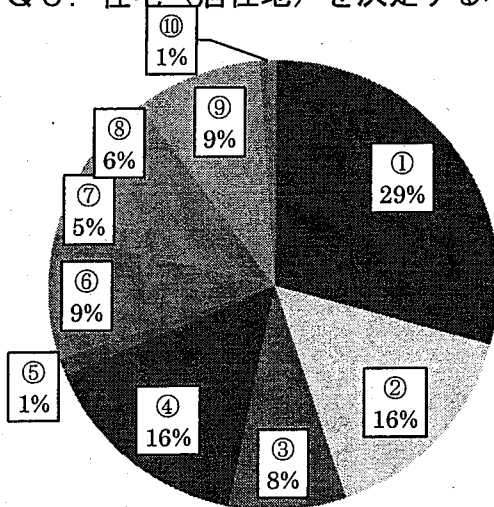
Q5. 住宅をお探しになっている“きっかけ”を教えてください。



- ① 就職・転勤・転職
- ② 結婚や出産
- ③ 買い物や交通環境など日常生活
- ④ 子供の育児や保育所（園）への入園
- ⑤ 子供の教育環境や小学校への入学
- ⑥ 子供の中学校や高等学校への入学
- ⑦ その他

- 子供の教育環境や小学校への入学をきっかけに、住宅取得を検討する割合が23%と最も高く、次いで、買物や交通環境などの日常生活21%、結婚や出産14%となっている。
- その他21%の中には、「手狭になった」「古くなった」などもあった。

Q6. 住宅（居住地）を決定する場合、何を重視されますか。



- ① 通勤や通学などの交通利便性
- ② 育児や保育所（園）などの子育て環境
- ③ 学力の向上や学校施設などの教育環境
- ④ 買い物や娯楽などの日常生活の利便性
- ⑤ インターネット環境
- ⑥ 医療機関や福祉制度、道路・上下水道などの生活環境
- ⑦ 公園や図書館、体育館などの趣味・娯楽・文化施設
- ⑧ 田園風景や新鮮な農林水産物などの自然環境
- ⑨ 戸建やマンションなどの物件や価格などの住宅の都合
- ⑩ その他

- 居住地を決定する場合は、通勤や通学などの交通利便性を重視する割合が29%と最も高く、次いで、育児や保育所（園）などの子育て環境16%、買い物や娯楽などの日常生活の利便性16%となっている。
- 逆に公園や図書館などの施設や自然環境、インターネット環境を重視する割合は低い。

Q7. 糸島市に対する意見や要望があれば、ご記入ください（自由意見）。

- ・野北の海と牡蠣を食べによく行きます。今日も二見ヶ浦で遊んできました。
- ・交通利便性を高めてほしい。
- ・自然が豊か。
- ・JR筑肥線を地下鉄と同じ本数に。
- ・糸島、最近すごく頑張っているようですね。
- ・伊都菜彩でお世話になっています。
- ・とても良い環境で、住みやすいと思います
- ・自然が豊かで、おいしいものがいっぱい。
- ・伊都菜彩の支店が中央区にあったら嬉しいです。絶対買います。
- ・いつか住んでみたいと思います。
- ・いつも行ってます。
- ・今、一番、栄はじめている場所なので、興味はあります。
- ・九大移転により、ますます活気ある都市を期待します。
- ・遊びに行くことはあります（ドライブなど）。
- ・自然が多くて良い。
- ・よくドライブに行っていて楽しんでいます。
- ・別になし。野菜がおいしい。
- ・とても良い環境なので、イベントなどをやってほしい。
- ・野菜がおいしい。
- ・自然が多いので、イベント情報をたくさん教えてほしい。
- ・休日は娘の運転で糸島めぐり楽しんでいます。
- ・住みたいと思います。
- ・自然環境が良い印象です。海・野菜など。
- ・野菜が新鮮。
- ・自然が豊かで、住んでみたい土地ではあります。
- ・素敵なお店があると聞いているので、一度行ってみたいです。
- ・いろんな物産をもっとつくってほしい。
- ・食べ物がおいしい。
- ・住むにあたってのメリットをもっと知りたい。
- ・自然豊かなところでいいと思います。
- ・糸島大好きです。
- ・野菜や魚がおいしくて、とても大好きです。
- ・糸島市は非常に良いところです。いろいろな面で大変素晴らしいを思います。
- ・施設の大きさに比べて駐車場が狭い（少ない）気がします。
- ・自然がたくさんあるイメージです。良いところだと思います。
- ・休日は、糸島でのんびりするのが好きです。
- ・山手のほうのエリアの交通の便や下水道の整備が進んでほしい。
- ・公共交通機関で福岡市から行きやすくなったら、もっと行く機会が増えそう。車で遠出するイメージが強い。
- ・自然が豊かで住みやすそう。
- ・最近、とても元気がある町という印象です。昔住んでいた町なので応援してます。
- ・今津を含めてのレストランマップがあればいいと思います。

H I T大野城住宅展示場でPRイベントの開催

【イベントの開催】

開催日時：平成26年1月13日（月・祝） 10：00～16：00

場 所：H I T大野城住宅展示場（大野城市）

運営会社：福岡地所株式会社

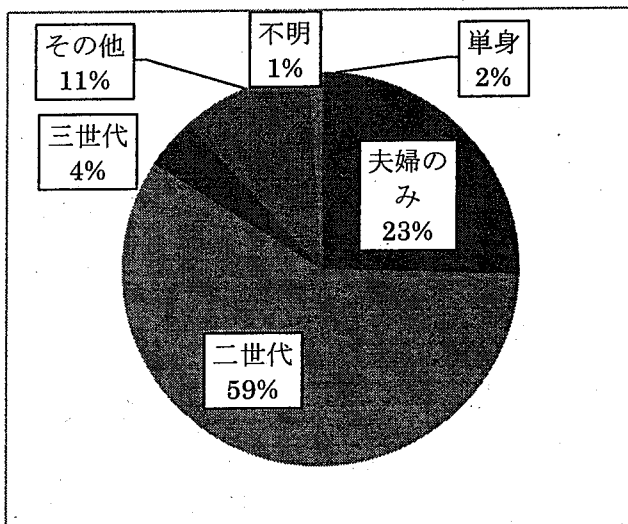
出店ハウスメーカー：21社（モデルハウス26棟）

イベント：糸島市PRイベント

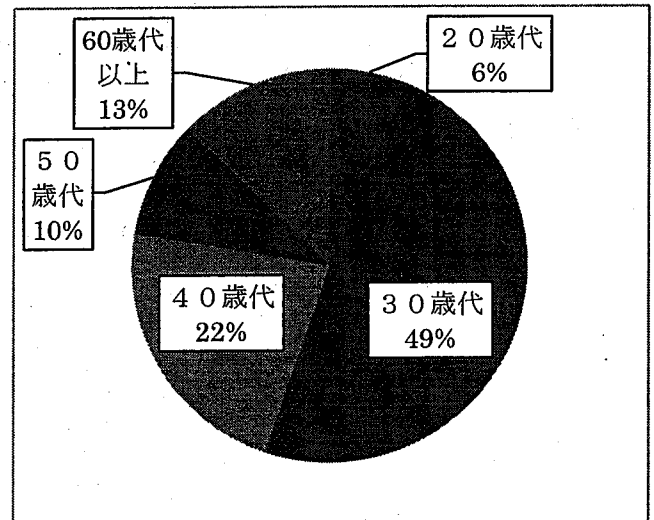
- ・アンケート協力者に糸島産野菜のプレゼント（回収枚数：94枚）
- ・定住促進ガイドブック、チラシ等の配布

【アンケート結果】 回収枚数：94枚

Q1. 家族構成を教えてください。

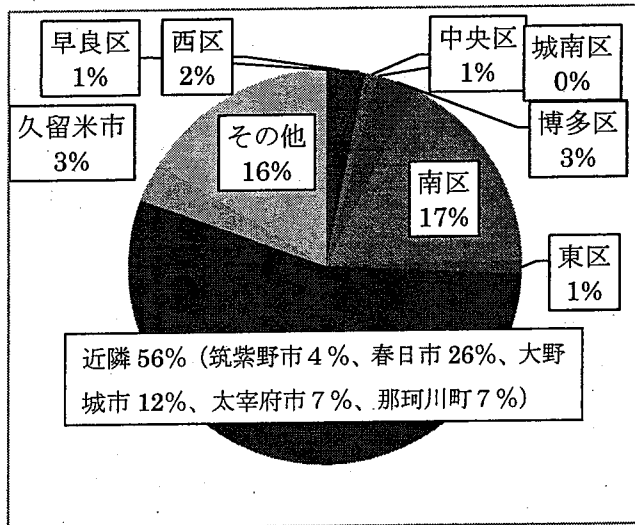


Q2. 世帯主の年齢を教えてください。

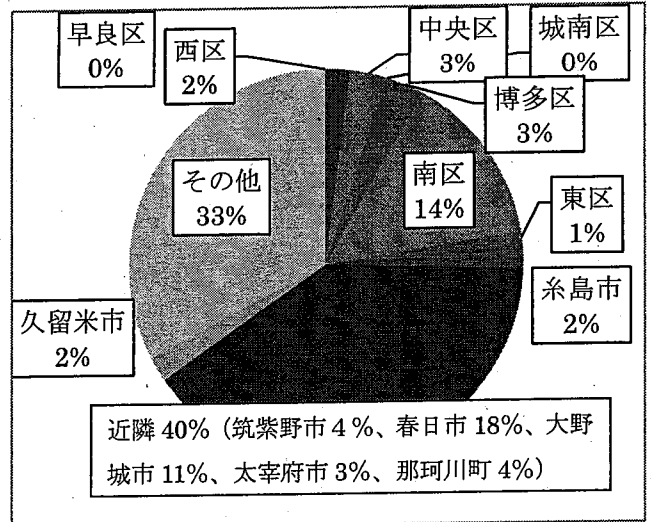


- ・来場者の82%が、二世代（59%）、夫婦のみ（23%）で、核家族の世帯の割合が高い。
- ・世帯主の71%が、30歳代（49%）、40歳代（22%）となっている。50歳代になると10%と割合が下り、逆に60歳代以上になると13%と少し割合が高くなっている。

Q3. 現在、どちらにお住まいですか。

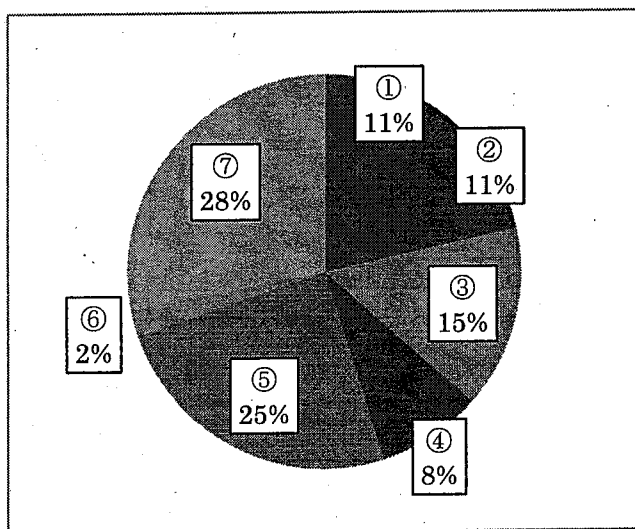


Q4. どちらで住宅をお探しですか。



- 来場者の56%が、展示場近隣（筑紫野市4%、春日市26%、大野城市12%、太宰府市7%、那珂川町7%）に居住している。
- 福岡市からは25%が来場しており、南区が17%と最も割合が高い。
- 住宅取得の検討地は、福岡市が23%、春日市が18%、南区14%、大野城市11%と続く。
- 検討地の40%が展示場近隣（筑紫野市4%、春日市18%、大野城市11%、太宰府市3%、那珂川町4%）であり、居住地近隣で物件を探す傾向がみられる。

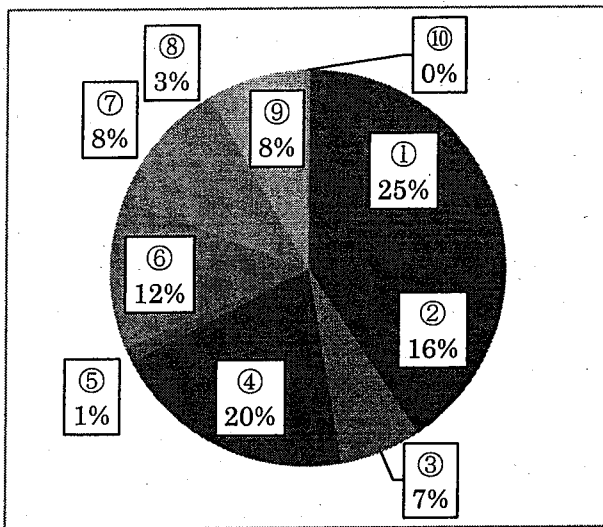
Q5. 住宅をお探しになっている“きっかけ”を教えてください。



- ① 就職・転勤・転職
- ② 結婚や出産
- ③ 買い物や交通環境など日常生活
- ④ 子供の育児や保育所（園）への入園
- ⑤ 子供の教育環境や小学校への入学
- ⑥ 子供の中学校や高等学校への入学
- ⑦ その他

- 子供の教育環境や小学校への入学をきっかけに、住宅取得を検討する割合が25%と最も高く、買い物や交通環境などの日常生活15%、就職・転勤・転職及び、結婚や出産が11%と続く。
- その他28%の中には、「建替え」「家が狭い」「消費税」等があった。

Q 6. 住宅（居住地）を決定する場合、何を重視されますか。



- ① 通勤や通学などの交通利便性
- ② 育児や保育所（園）などの子育て環境
- ③ 学力の向上や学校施設などの教育環境
- ④ 買い物や娯楽などの日常生活の利便性
- ⑤ インターネット環境
- ⑥ 医療機関や福祉制度、道路・上下水道などの生活環境
- ⑦ 公園や図書館、体育館などの趣味・娯楽・文化施設
- ⑧ 田園風景や新鮮な農林水産物などの自然環境
- ⑨ 戸建やマンションなどの物件や価格などの住宅の都合
- ⑩ その他

- 居住地を決定する場合は、通勤や通学などの交通利便性を重視する割合が25%と最も高く、買い物や娯楽などの日常生活の利便性が20%、育児や保育所（園）などの子育て環境16%となっている。
- 自然環境は3%、インターネット環境は1%と、重視する割合は低くなっている。

Q 7. 糸島市に対する意見や要望があれば、ご記入ください（自由意見）。

- 農産物が美味しくて糸島は好きです。
- 自然がたくさんあって良いと思います。
- 自然が多く住みやすいと思う。
- 自然豊かな環境の中にお洒落なカフェなどもあり大好きです。
- 農産物鮮魚が新しい。
- とても素敵な所ですね。また海を見に行きたいです。
- 自然豊かでゆっくり住めるイメージ。
- 自然がいっぱいで魅力ある所だと思います。食物野菜などおいしい。
- 自然が多く、のびのびと子育てできるイメージがあります。
- すごくいい所と聞いてます。（自然豊か）
- いい所とはわかります。
- 住む場所として検討したことはありませんが、海や自然など魅力的な地域と思います。注目されているエリアとして魅力を残したまま発展してほしい。
- 環境は良いので家族で頻繁に出向いています。住んでみたい街の候補の一つではあります。
- 農産物の質の良さからは良い土地と考えられる。交通事情が整っていれば良いと思う。
- 自然豊かで素晴らしいと思うが、職場が筑紫野なので遠い。
- きれいな所、交通手段が難しい。
- 自然があって遊びに行くのにいいと思います。
- すごく環境が良さそうなので行ってみたいです。

- 自然の中に都会がある感じ、白糸の滝はよく行っています。
- 伊都菜彩はよく行く。
- カキ小屋がもう少しわかりやすいと嬉しい。
- カキ小屋をもっと身近に利用できるといいのですが。
- 高田にコンビニが少ないと思ったのであれば便利だと思いました。202号線が片道一車線で混んでいるので片側二車線欲しいです。
- 原発のイメージを除いてほしい。

H I T マリナ通り住宅展示場でPRイベントの開催

【イベントの開催】

開催日時：平成26年1月19日（日） 10：00～16：00

場 所：H I T マリナ通り住宅展示場（福岡市西区愛宕）

運営会社：福岡地所株式会社

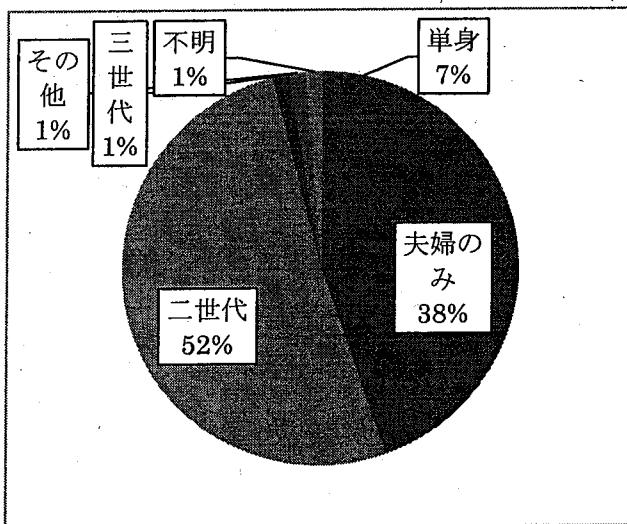
出店ハウスメーカー：27社（モデルハウス30棟）

イベント：糸島市PRイベント

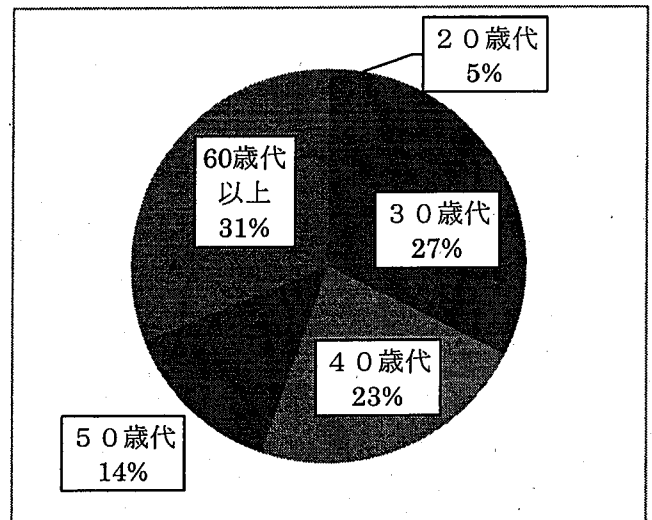
- ・アンケート協力者に糸島産野菜のプレゼント（回収枚数：73枚）
- ・定住促進ガイドブック、チラシ等の配布

【アンケート結果】 回収枚数：73枚

Q1. 家族構成を教えてください。

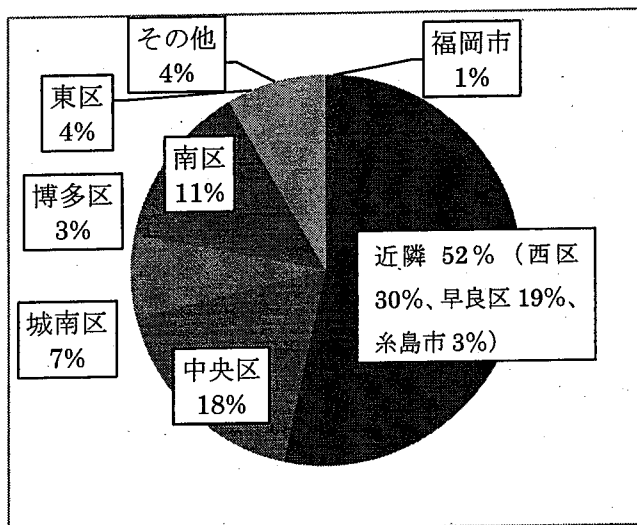


Q2. 世帯主の年齢を教えてください。

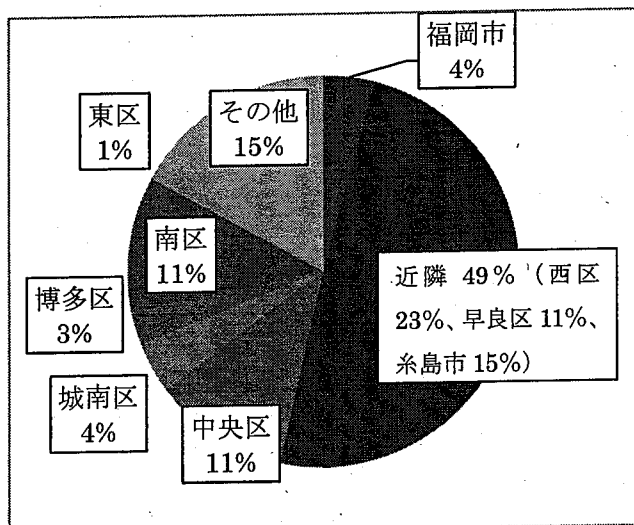


- ・来場者の90%が、二世代（52%）、夫婦のみ（38%）で、核家族の世帯の割合が高い。
- ・世帯主の50%が、30歳代（27%）、40歳代（23%）となっている。
- ・50歳代になると14%と割合が下がっているが、60歳代以上は31%と最も多くなっている。

Q3. 現在、どちらにお住まいですか。

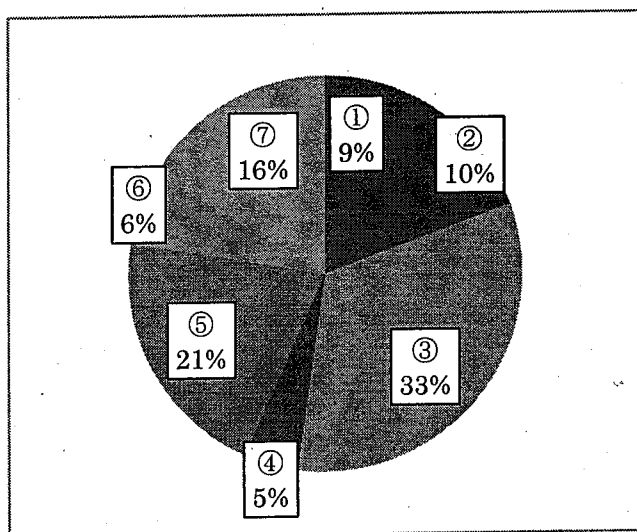


Q4. どちらで住宅をお探しですか。



- 来場者の52%が、展示場近隣（西区30%、早良区19%、糸島市3%）に居住している。
- 福岡市からは92%が来場しており、西区が30%と最も割合が高い。
- 住宅取得の検討地は、福岡市が68%、糸島市15%、その他11%と続く。
- 福岡市からの来場者の24%が、福岡市以外の居住地を候補として挙げている。
- 検討地の49%が展示場近隣（西区23%、早良区11%、糸島市15%）であり、居住地近隣で物件を探す傾向がみられる。

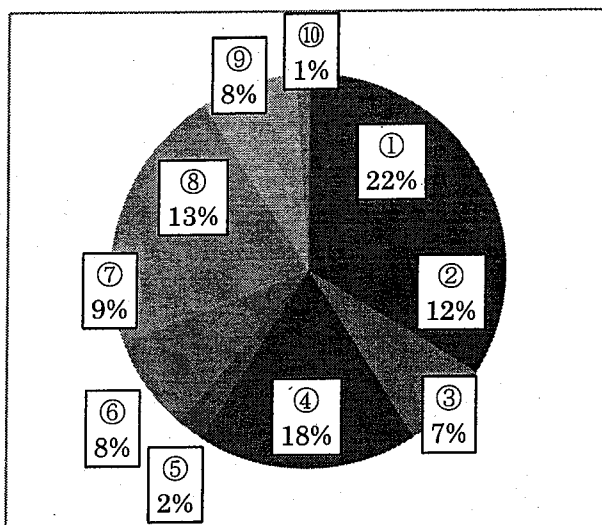
Q5. 住宅をお探しになっている“きっかけ”を教えてください。



- ① 就職・転勤・転職
- ② 結婚や出産
- ③ 買い物や交通環境など日常生活
- ④ 子供の育児や保育所（園）への入園
- ⑤ 子供の教育環境や小学校への入学
- ⑥ 子供の中学校や高等学校への入学
- ⑦ その他

- 買い物や交通環境などの日常生活をきっかけに、住宅取得を検討する割合が33%と最も高く、子供の教育環境や小学校への入学が21%、結婚や出産が10%、就職・転勤・転職が9%と続く。

Q 6. 住宅（居住地）を決定する場合、何を重視されますか。



- ① 通勤や通学などの交通利便性
- ② 育児や保育所（園）などの子育て環境
- ③ 学力の向上や学校施設などの教育環境
- ④ 買い物や娯楽などの日常生活の利便性
- ⑤ インターネット環境
- ⑥ 医療機関や福祉制度、道路・上下水道などの生活環境
- ⑦ 公園や図書館、体育館などの趣味・娯楽・文化施設
- ⑧ 田園風景や新鮮な農林水産物などの自然環境
- ⑨ 戸建やマンションなどの物件や価格などの住宅の都合
- ⑩ その他

- 居住地を決定する場合は、通勤や通学などの交通利便性を重視する割合が22%と最も高く、買い物や娯楽などの日常生活の利便性が18%、田園風景や新鮮な農林水産物などの自然環境が13%、育児や保育所（園）などの子育て環境12%となっている。
- インターネット環境は2%と、重視する割合は低くなっている。

Q 7. 糸島市に対する意見や要望があれば、ご記入ください（自由意見）。

- 自然に恵まれ、素敵なお店が沢山あるのでたくさんPRしてください。
- 野菜が新鮮で、自然がいっぱいというイメージがあります。
- 食べ物がおいしい。
- 野菜が新鮮。
- おいしい魚と野菜をありがとうございます。
- 豊かな自然環境が損なわれないよう期待します。
- 自然豊かで住みやすそう。
- 空気や自然に恵まれている所で住みたい。
- ぜひ住みたい。海もきれい。
- 第一希望地。
- 二丈深江周辺で探しています。
- 原発が心配です。
- 子どもが遊べる所を増やしてほしい。ドライブに行っても、食べる所しかないイメージ。
- 交通の便などをもっとPRしてほしい。



H I T 香椎浜住宅展示場でP R イベントの開催

【イベントの開催】

開催日時：平成26年1月19日（日） 10：00～15：00

場 所：H I T 香椎浜住宅展示場（福岡市東区香椎浜）

運営会社：福岡地所株式会社

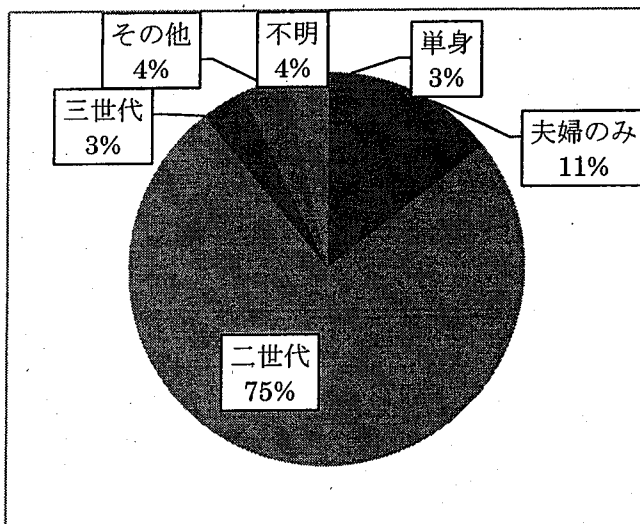
出店ハウスメーカー：20社（モデルハウス22棟）

イベント：糸島市P R イベント

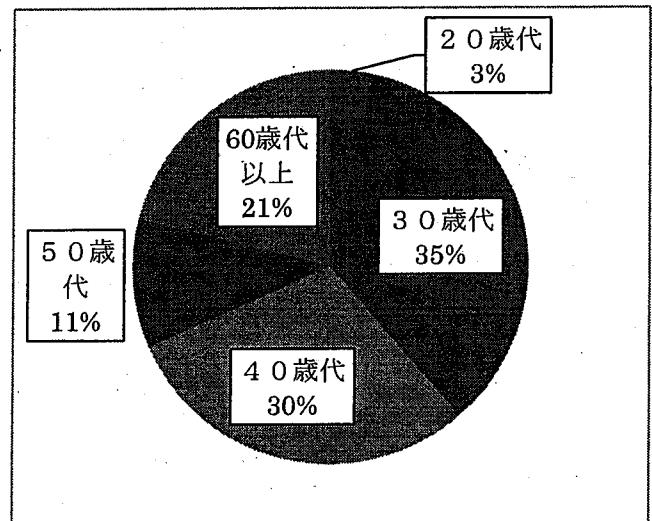
- ・アンケート協力者に糸島産野菜のプレゼント（回収枚数：56枚）
- ・定住促進ガイドブック、チラシ等の配布

【アンケート結果】 回収枚数：56枚

Q 1. 家族構成を教えてください。

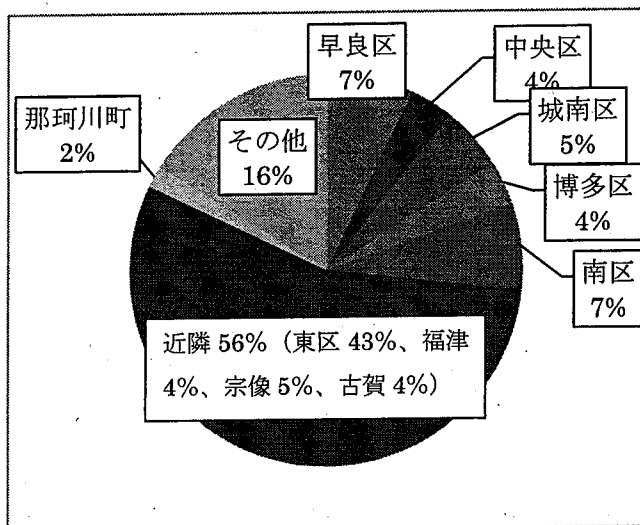


Q 2. 世帯主の年齢を教えてください。

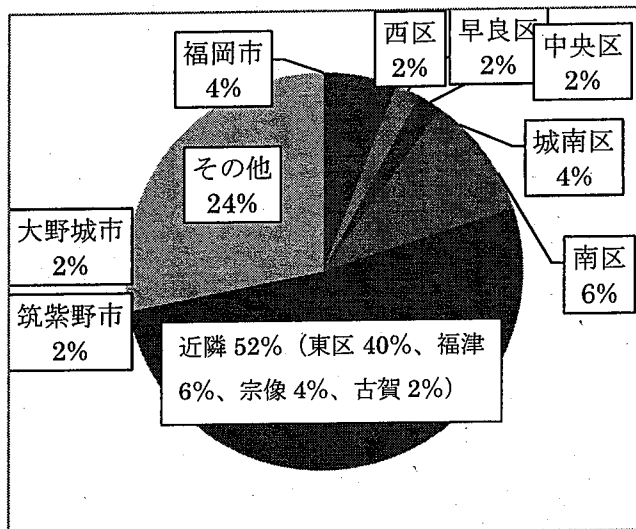


- ・来場者の86%が、二世代（75%）、夫婦のみ（11%）で、核家族の世帯の割合が高い。
- ・世帯主の65%が、30歳代（35%）、40歳代（30%）となっている。50歳代になると11%と割合が下り、逆に60歳代以上になると21%と少し割合が高くなっている。

Q3. 現在、どちらにお住まいですか。

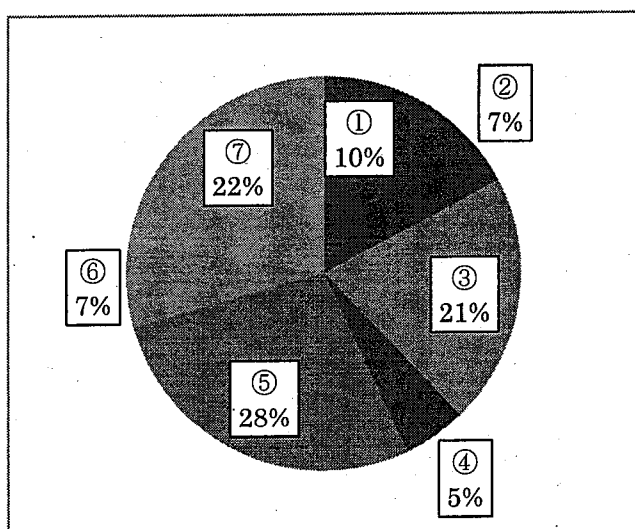


Q4. どちらで住宅をお探しですか。



- 来場者の56%が、展示場近隣（東区43%、宗像市5%、福津市4%、古賀市4%）に居住している。
- 福岡市からは70%が来場しており、東区が43%と最も割合が高い。
- 住宅取得の検討地は、福岡市が60%と最も多く、近隣候補地は2~6%となっている。
- 福岡市からの来場者の10%が、福岡市以外の居住地を候補として挙げている。
- 検討地の52%が展示場近隣（東区40%、宗像市4%、福津市6%、古賀市2%）であり、居住地近隣で物件を探す傾向がみられる。

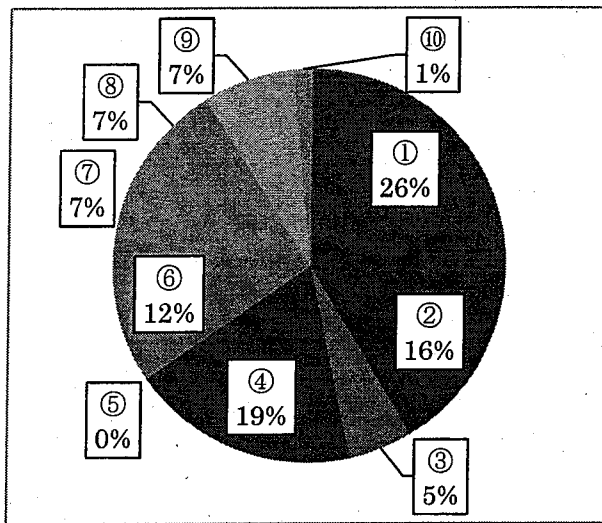
Q5. 住宅をお探しになっている“きっかけ”を教えてください。



- ① 就職・転勤・転職
- ② 結婚や出産
- ③ 買い物や交通環境など日常生活
- ④ 子供の育児や保育所(園)への入園
- ⑤ 子供の教育環境や小学校への入学
- ⑥ 子供の中学校や高等学校への入学
- ⑦ その他

- 子供の教育環境や小学校への入学をきっかけに、住宅取得を検討する割合が28%と最も高い。
- その後、買い物や交通環境などの日常生活が21%、就職・転勤・転職が10%と続く。

Q 6. 住宅（居住地）を決定する場合、何を重視されますか。

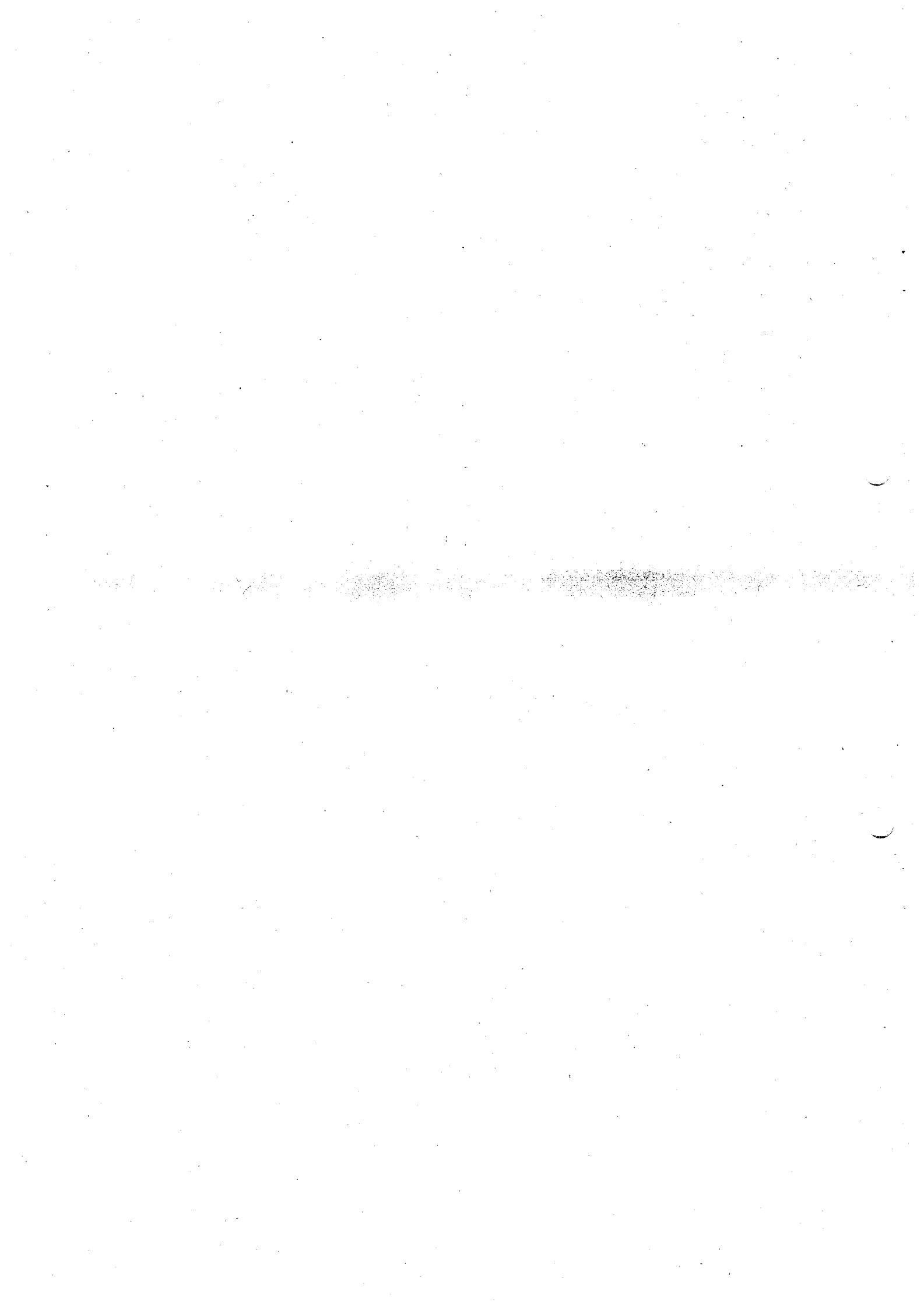


- ① 通勤や通学などの交通利便性
- ② 育児や保育所（園）などの子育て環境
- ③ 学力の向上や学校施設などの教育環境
- ④ 買い物や娯楽などの日常生活の利便性
- ⑤ インターネット環境
- ⑥ 医療機関や福祉制度、道路・上下水道などの生活環境
- ⑦ 公園や図書館、体育館などの趣味・娯楽・文化施設
- ⑧ 田園風景や新鮮な農林水産物などの自然環境
- ⑨ 戸建やマンションなどの物件や価格などの住宅の都合
- ⑩ その他

- 居住地を決定する場合は、通勤や通学などの交通利便性を重視する割合が26%と最も高く、買い物や娯楽などの日常生活の利便性が19%、育児や保育所（園）などの子育て環境16%となっている。
- 教育環境は5%、インターネット環境は0%と、重視する割合は低くなっている。

Q 7. 糸島市に対する意見や要望があれば、ご記入ください（自由意見）。

- 環境的に住みやすそうで空気もおいしそうです。野菜なども新鮮で。
- 活気と自然がある。
- 海がきれいでスローライフのイメージがあります。
- 自然もたくさんで魅力的だなあと感じています。
- 自然が豊かで、食べ物もおいしく、素敵な所だと思います。
- 自然がいっぱいでおいしい物が沢山！ドライブもグッド！素敵なところです。
- 道の駅や、カキ小屋によく通って楽しませていただいています。
- 住みたい程いい所と思います。
- 月に2～3回は行ってます。買い物の利便性が向上すれば住みたい。
- 環境はいいが、利便性が悪そう。
- 作家さんが多いイメージで行ってみたい所です。
- 水道代などが高いと聞きました。それ以外は住みやすいと聞いているので、気にはなっています。



初出張

唐津街道前原宿

軽トラ市!

～ HIT住宅展示場で 糸島市をPR ～

平成22年1月に人口10万人の糸島市が誕生しましたが、本格的な人口減少の中、本市も例外なく、毎年330人程度、人口が減少傾向にあります。

そこで、今年度から本格的に定住促進に取り組んでいますが、今回、住宅取得を検討している人が集まるHIT住宅展示場で開催されるイベントに、糸島市の参加が決定。定住促進に向けて、多くの人に糸島市を知ってもらうため、新鮮な糸島産野菜などを販売する軽トラ市が、初めて前原商店街を飛び出して、“出張 軽トラ市”を開催することになりました。

【イベント概要】

日 時 : 平成25年9月16日(月・祝) 10:00～15:00

場 所 : HIT住宅展示場マリナ通り店
福岡市西区愛宕4丁目21

軽トラ市 : 出張台数5台

- ・虹の会(糸島産野菜)
- ・雉琴の市(糸島産野菜)
- ・キナフク(糸島産小麦を使用したスコーン)
- ・カフェ笑顔(地産地消にこだわったホットサンド)
- ・まんまるカレー(糸島産にこだわったカレー)

イベント : ▶住宅取得を検討している世帯でアンケートに答えられた方に、糸島(市)産野菜をプレゼント(先着300人)

- ▶定住促進パンフレットの配布
- ▶市民まつりなどのイベント紹介
- ▶いとゴン(いとゴンシールなどをプレゼント)

※12:00～15:00

【問い合わせ先】

糸島市経済振興部学研都市づくり課定住促進係(吉村・渡辺)

TEL 092-332-2064(直通)

FAX 092-324-2531

「まっとう満足」

自然が好きな人が好きです。

自然が好きな人が好きです。

糸島市への定住に関する
お問い合わせ先

糸島市経済振興部 学研都市づくり課

〒819-1192 福岡県糸島市前原西一丁目1番1号

☎092-323-1111(代表) <http://www.city.itoshima.lg.jp>

☆空き家リフォーム補助金

最高70万円の補助金を交付。

- ・購入した空き家のリフォーム費用の2分の1以内で、50万円を限度に補助金を交付します。
- ・補助対象者が配偶者と共に居住する場合で、いずれかが40歳以下のときは、70万円を限度に補助金を交付します。

※お問い合わせ先
糸島市施設管理課 ☎332-2078

☆空き家バンク

市のホームページで、市内の空き家などの情報を提供しています。

※お問い合わせ先
糸島市施設管理課 ☎332-2078

☆新婚生活応援祝い金

新婚さんに、商工会の商品券3万円分を支給。

市内で新生活を始める新婚世帯を応援するため、商工会の商品券(3万円分)を支給します。

※お問い合わせ先
糸島市学研都市づくり課 ☎332-2064



新婚生活を応援

☆婚活支援事業

バスツアーやバーベキューなど、楽しい婚活イベントを開催して、出会いのきっかけづくりを応援しています。

※お問い合わせ先
糸島市学研都市づくり課 ☎332-2064

☆妊婦歯科健診

市では、妊婦さんの歯科健診が無料。

重い歯周病を持つお母さんは、早産や低体重児出産などのリスクが高いといわれているため、妊婦さんの歯科健診を行っています。

※お問い合わせ先
糸島市健康づくり課 ☎332-2069

☆乳幼児健診・ファミリー健診

お母さんの健康管理が、赤ちゃんの健康を守ります。

乳幼児健診、離乳食教室、ファミリー健診(お母さんの健康状態をチェック)を行います。

※お問い合わせ先
糸島市健康づくり課 ☎332-2069

☆ブックスタート事業

親と子が絵本に親しむきっかけを提供。

親子が絵本に親しむきっかけづくりと、赤ちゃんの健やかな成長のために絵本を配布しています。

※お問い合わせ先
糸島市生涯学習課 ☎332-2092

☆子育て支援センターの子育て支援事業

お子さんの年齢に応じて、さまざまな支援を行っています。

子育て広場、子育て教室、子育て応援講座、子育てセミナー、家庭訪問、ほほえみ教室、ママ・パパ教室などがあります。

子育て支援相談
(月～土曜日 8:30～17:00 ☎・FAX 321-0464)

※お問い合わせ先
糸島市子育て支援センター ☎321-0464



子育て支援の座談会

☆保育料の減免

3歳未満で第3子以降は、保育料が無料。

入所児童の年齢が、当該入所年度の4月1日現在、3歳未満であり、さらに、入所児童が当該入所年度の18歳未満の兄弟姉妹の中で第3子以降であれば、申請により保育料が免除(無料)されます。

※お問い合わせ先
糸島市子ども課 ☎332-2074

☆私立幼稚園子育て支援補助金

お子さんが3人以上通っていれば、支援補助金を交付。

私立幼稚園に同時に3人以上のお子さんが就園している市内在住の世帯に対して、3人目以降の園児の入園料、保育料などを補助する制度です。

※お問い合わせ先
糸島市教育総務課 ☎332-2091

☆放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、全ての小学校グラウンドで活動中。

保護者が仕事などで昼間家庭にいない1年生から3年生までの児童を対象に、遊びを中心とした育成指導を行っています。

※お問い合わせ先
糸島市子ども課 ☎332-2074



放課後児童クラブで元気に遊ぶ子どもたち